



7th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific
7th ICAAP Secretariat, c/o Convention Linkage, Inc.
PIAS TOWER 11F, 3-19-3 Toyosaki, Kita-ku, Osaka 531-0072 JAPAN
Phone: +81-6-6377-2188 Fax: +81-6-6377-2075

プレスリリース

2005年7月5日

今後5年間のアジア・太平洋地域における予防サービスを 急速に拡大すれば、600万人のHIV感染が回避可能である

- もし親がHIVに感染しなければ、子どもへのHIV/AIDSの影響は最小にできる -

迅速で大規模なエイズ対策が行われなければ、アジア・太平洋地域は、今後の5年間で1200万人の新しいHIV感染をみることになるだろう。もし、緊急の対策が採用されれば、新たな感染者の数は半分にすることができる。

近年、すでにHIV/AIDSと共に生きている人々に対する治療の拡大に多くの注意が払われているが、第7回ICAAPの代表者は、これ以上の感染を防ぐための取り組みに焦点を当てるのが第一であると改めて表明した。

今回注目を集めたのは、HIV感染の最悪の推計数が現実のものとなったという、地域におけるエイズの流行状況に関する新しい情報だった。アジア太平洋の国々は、もし放置されれば、急速で回復不可能なHIV感染の拡大につながる危険因子のカクテルとともに、今、非常に重要な「分岐点」にたっている。

今週、多くの報告が、これまでの警告に十分に注意を払わなかった結果として、今日、薬物注射使用者の蔓延、25歳未満の若い女性における性産業に従事する率の上昇、全ての脆弱な集団における高いHIV感染率とHIV予防サービスへのアクセスの低さがあらわれているということを示した。

90年代半ばに大規模な100%コンドームキャンペーンが実施されたタイのような国々でのHIV拡大に対するいくつかの初期の成功にもかかわらず、大規模な介入は減ってきており、今日この地域の予防プログラムは、比較的不足している。その結果として、例えばコンドーム利用率は非常に低い水準に落ち、HIVテストのカバ―率は最小になっている。

会議中に国連エイズ合同計画(UNAIDS)から出された声明によれば、何年もHIV感染率が低いといっても、大規模な国家規模の流行が起こらないというわけではない。地域の国々が世界の半分の人口を占めているとすれば、たとえ低い感染率であっても何百万人もHIV感染につながる事となる。

それは、バングラディッシュ、東チモール、日本、ラオス、パキスタン、フィリピン、そして他の多くの国々には、HIVの深刻な発生を予防する絶好の機会をもっていることを意味する。

神戸における会議の直前に、HIV 予防の強化を目的とした新しい世界戦略が動き出した。HIV 予防が現在の AIDS 治療と同じように注意を引くことを目的として、国連の新しい基調報告は、効果的な HIV 予防のための努力の成功に必須の多くの基本的な原理に基礎をおいている。なかでも、全ての予防プログラムは、総合的な視点を持ち、根拠に基づいており、基本的に人権尊重に根ざしていなければならない。治療における同様の戦略である「3by5」と異なり、予防に関する世界戦略は、次の5年間で達成すべき目標を特定していない。

この新しい戦略では、既存の HIV 予防対策に欠けているところを強調し、これらの欠損を埋めるために拡大すべき必須の政策や事業を記載している。また、すべての HIV 予防努力の鍵は、各国がそれを自分のものと認識し、先導することであるとしている。

ICAAP の最中、ユニセフと FHI (Family Health International)、英国の「Save the Children」は、将来のアジアにおける HIV の大流行がこの地域の子どもたちにもたらすであろう影響を強調した。

彼らによれば、最新の地域データでは、アジア太平洋地域の 150 万人以上の子どもたちがすでにエイズにより孤児となっており、予防とケア、子どもたちへの支援がより緊急なものとなっている。

エイズにより孤児となる子どもたちの数も危機的だが、それはエイズに影響された者たちの一部に過ぎない。より多くのアジア・太平洋地域の子どもたちが、エイズに罹患し、死につつある両親や親戚と住んでおり、世話をする人間を失う危険と隣り合わせている。

エイズにより孤児となった子どもたちに加え、12 万 1000 人のアジア・太平洋地域の子どもたちが 2004 年末までに HIV/AIDS に罹患しているといわれており、昨年だけでも 4 万 7000 人が罹患したと推計されている。こうした運命から子どもたちを守る確かな方法は、大人たちの間の HIV 新規感染を減らすことである。

UNICEF の東アジア・太平洋地域の地域事務所長アヌパマ・ラオ・シンはいう。「これは行動に向けた緊急の呼びかけです。われわれはこうした子どもたちを守り、世話をするためにより多くのことをするだけではなく、HIV/AIDS の拡大をとどめる一次予防の努力も立ち上げなければならなりません。」

詳細なプログラム（英語）が、ウェブサイトでご覧いただけます

http://www.icaap7.jp/congress_schedule内をクリックし、プログラム（PDF）をご参照下さい。

本件に関するお問い合わせ先：

第7回アジア・太平洋地域エイズ国際会議 広報委員会

会期中（7/1～）：メディアセンター（神戸ポートピアホテル 本館2階 つつじの間） 078-302-2564